

# 東日薬会報

発行所

北海道石狩郡当別町金沢1757番地  
東日本学園大学薬学部同窓会  
☎(01332)3-0301 直通・FAX  
☎(01332)3-1211 大学代表  
編集人 遠藤 泰郎  
発行人 星野 太郎

印刷所

富士プリント株式会社  
札幌市中央区南16条西9丁目  
☎代表(011)531-4711

## 『新年を向かえて』

東日薬会長 星野 太郎(1期)

謹んで新年のおよろこびを申し上げ、会員皆様の御多幸と御活躍をお祈り申し上げます。

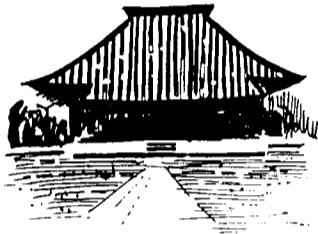
昭和63年度は、同窓会事務局の移転(佐々木メモリアル総合図書館内一階に独立)から始まり、東日薬会報の定期的発送と、同本部としての基礎的骨格造りも軌道に乗りました。これら副会長の御活躍の賜物と、心から感謝申し上げます。昭和64年度におきましても、難問題(特に支部づくり)が山積みし、又同窓会発足十周年と大きな仕事、式典が控えて

## 年頭の御挨拶

東日薬道北支部支部長 後藤 輝明(1期)

皆様、お元気でいらつしやいますか。新年を迎えるのスタートにあたりご挨拶申し上げます。昨年を顧みますと、支部長就任も間もないため実績も、成果もなく、会員の皆様に十分に評価いただくことが出来なかつたと思

皆様、お元気でいらつしやいますか。新年を迎えるのスタートにあたりご挨拶申し上げます。昨年を顧みますと、支部長就任も間もないため実績も、成果もなく、会員の皆様に十分に評価いただくことが出来なかつたと思



ある国で教員の再試験制度の導入により、現職教員が職を解かれる場面が、出ておりました。将来、我々薬剤師に於いても考えられない事ではありません。薬剤師自身職能の一層の向上を計らなければならぬ時期にきているものと思われま

## 第3回医療薬学公開講座開催

第3回医療薬学公開講座が、去る11月9日(水)午後6時より道新ビル7階会議場において、開催されました。

本講座は東日本学園大学薬学部主催、薬学部同窓会共催、北海道薬剤師会、札幌薬剤師会、北海道病院薬剤師会および札幌病院薬剤師会の後援を得て行われました。本学卒業生をはじめ、道内で活躍中の薬剤師の諸先生方等、約220名が出席されました。講演は、野村靖幸先生(北海道大学薬学部薬効学教授)および石崎高志先生(国立病院医療センター・臨床研究部長)により、行われました。

## 新年の御挨拶

東日薬札幌支部支部長 岩田 克喜(1期)

全国の東日本学園大学薬学部卒業生の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方、それぞれの場所で種々様々、色々のお正月を迎えられたことと思

全国の東日本学園大学薬学部卒業生の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方、それぞれの場所で種々様々、色々のお正月を迎えられたことと思

## 第3回医療薬学公開講座

法に化学的な指標を導入するの狭い薬物を例に、わかりやすく説明していただきました。貴重なお話をいただいたお二人の先生に深く感謝の意を評するとともに、同窓生の皆様のご活躍を期待いたします。



## 第3回医療薬学公開講座を聴講して

田村 俊彦(9期)

東日本学園大学富田喜内副学長の挨拶のあと、北海道大学薬学部教授野村靖幸先生の「和漢薬の薬効評価」と国立病院医療センター臨床研究部長石崎高志先生の「TDM-What, Why and How」の2題について講演が行われました。

東日本学園大学富田喜内副学長の挨拶のあと、北海道大学薬学部教授野村靖幸先生の「和漢薬の薬効評価」と国立病院医療センター臨床研究部長石崎高志先生の「TDM-What, Why and How」の2題について講演が行われました。

沖縄地区医療薬学公開講座

- 日時/昭和63年10月26日(水) 午後6時
- 場所/RBCホール
- 演題(1)医療と薬剤師 名城大学薬学部教授 英二 宮 啓 (2)新開発食品の現状と将来 -その厚生省取組み- 厚生省生活衛生局 食品保健課 新開発食品保健対策室長 稲葉 博

主催/東日本学園大学 東日本学園大学薬学部同窓会  
後援/沖縄県薬剤師会 沖縄県病院薬剤師会

第3回医療薬学公開講座

(札幌会場)

- 日時/昭和63年11月9日(水) 午後6時~8時30分 F会議室
- 場所/道新ビル7F会議室 (札幌市中央区大通り西3丁目)
- 演題及び講師 (1)和漢薬の薬効評価 北海道大学薬学部教授 野村靖幸 (2)TDM-What, Why and How 国立病院医療センター 臨床研究部長 石崎高志

主催/東日本学園大学 東日本学園大学薬学部  
後援/北海道薬剤師会 札幌薬剤師会 札幌病院薬剤師会



必要疾患に用いる薬物、個人個人の薬物動態にかなり変動がある状態を観察することによって薬物を、非線形な薬物動態を示す薬物、分布容積の大きな薬物が存在するが現在、薬物、吸収、血中、排泄、代謝、作用点の各相互作用により薬物の評価も変わる。これらのことを実際例を上げて説明されました。最後に一つの生薬には活性成分は一般に複数、一つの成分にも一般に複数の薬理活性を有し、同一生薬中に同一治療目的に合致する複合成分がある。同一生薬中に相反する活性を示す複合成分がある。投与経路により薬理活性と毒性に差が生じる。活性は西洋医学に比して弱く、有効成分の長期慢性疾患に適用、有効成分の化学的本体を明らかにする。以上をふまえて、評価をするときとめ

当別での十余年

薬化学教室教授 寺島 正直



春、残雪のたつぷりある新学期、フキノトウの芽生えに誘われて、セキレイの家族が、友達同士がたむわむる姿が研究室の窓から見える。この様に始まる一年間の...

第4回道北支部総会を終えて

副支部長 畑中 勝 (3期)

去る10月29日に第4回道北支部総会が行われた。出席者は、14名と少なかつたものの、盛況に終ったことをまずもって皆様に報告いたします。前回の会報で支部紹介をさせて頂いたため、今回は、支部総会の内容に限って寄稿して...

中谷教授退任のお知らせ

環境衛生化学教室の中谷省三教授は、昭和51年1月に、北海道立衛生研究所から本学に赴任されて以来、第一期生のときより14年の間、研究および学生の教育、指導に尽力されてこられました。このたび昭和64年3月末日をもって、定年退職されることになりました。...



この様に書き進んで来て、紙面も残り少く、さて自分の「当別で」

の「十余年」と考えると、話の忍びを踏む思い」というのが、言葉の由来は専門家に任せるとして、どこか消極的な語感と裏腹に、薄氷を不注意に踏み破らなげに、張りつめた細心の配慮をしながら、積極的に、誠実に生きる姿勢が感じられる一方、折角張った薄氷に対する優しさも思われ、幼い頃の寒い冬の朝の記憶と重なり、透明な緊張感の美しさがたまたまこの言葉が、私は好きである。...

ち3名の自己紹介をいただいた。会員研究発表は時間の足りないところもあり、次回の検討課題と考へていく。...

- 1. 開会の辞 (副支部長: 畑中 勝)
2. 大学からの近況報告 (副支部長: 畑中 勝)
3. 議案 (副支部長: 畑中 勝)
4. 本年度事業計画 (副支部長: 畑中 勝)
5. 閉会の辞 (副支部長: 畑中 勝)
6. 新入会員紹介 (副支部長: 畑中 勝)
7. 研究発表 (副支部長: 畑中 勝)
8. 中谷先生の追悼 (副支部長: 畑中 勝)
9. 特別講演 (副支部長: 畑中 勝)
10. 記念撮影、懇親会 (副支部長: 畑中 勝)

急告 臨床検査技師国家試験 受験資格を 取得されている皆様へ

昭和六十五年三月実施される試験より施行要領が改正されます。希望者は本学教務課内線六六八まで御連絡ください。...

Table with 2 columns: 現行 (Current) and 昭和65年3月改正後 (Revised March 1965). Rows include exam subjects like 臨床検査総論II, 臨床生理学, etc.

入試要項配付について

入試要項希望者がとうございでした。これから一般二期、二期入試の組を配付いたしました。...

原稿募集

東日本学園大学薬学部同窓会の方々の投稿を期待しております。...

昭和64年度入学試験要領

Table with 3 columns: 薬学部 (Faculty of Pharmacy), 歯学部 (Faculty of Dentistry), and 歯科衛生士専門学校 (Dental Hygiene School). Rows include recruitment numbers, exam dates, and subjects.

### 薬品分析化学教室

#### 同門会に参加して

金沢 恵子 (9期)

去る9月3日、札幌ビール園に於て、分析化学教室の同門会が開かれ、私も参加させていただきました。

乾杯に続き、ジンギスカンを皆で食べながら和気あいあいとした2時間でした。

毎年は無理にしても、何回か開かれており私が4年生の時に所属していた年にもあり、出席しました。その時には、ただ「教室コンパだ」という感じで、この会のよさというものを考えずにただ参加したという感じでしたが、卒業して年月がたつと、よさというか、意義というものがわかってきました。卒業してしまえば、同期同志でも職場等の関係で離れてしまい、近くにいなくてもな

す。中には都合でこの会に出席できず、「同期は知っているけど親しい先輩後輩もいない」という方もいると思います。このような方のためにも、この場に出席するしない、また会ったことがあるのかにかかわらず、同じ教室出身というだけで気楽に交流がもてるようになる様、この会が何らかの足掛りになっていけばよいなと思っております。

自分のまわりの人とはよく話せましたが、離れて座った人とゆっくりと話せなかつたこと。もう一つは、卒業生も1期となり、今年初めて全国全員にハガキを出し連絡したのですが、やはり皆さん御都合もあり、出席者が道内中心で、思ったより少なかった事です。もう少し、せめて札幌近郊の方はなんとか皆さん出席していただきたいと思いました。

### 東日薬・札幌支部

#### ボウリング大会

副支部長

田中 稔泰 (3期)

先日、同窓会本部の多田副会長より11月5日アオキボウルで開催した東日薬・札幌支部ボウリング大会について原稿を依頼された。

支部援助金をいただいている弱い立場から断わるに断われず、決まっただけの写真も多く使ったなどと考えながら、締切まじかになりペンをとった。

### 薬理学教室同門会

荒木 文一 (7期)

懐かしい顔、初めて見る顔、職種は異なるが多方面でならんかの形で医療にたずさわっている顔がありました。

11月5日、札幌ランドホテルに於て東日本学園大学薬学部薬理学教室同門会が発足、前薬理学教室教授で現在本学客員教授である田辺恒義先生、現薬理学教室教授南 勝先生、助教門田芳夫先生以下、卒業生を含め総勢36名が会第1回総会が開かれました。

たときは、ほっと胸をなでおろされたことでしょうか。会は同窓会を遠藤先生が務め、田辺先生の御挨拶、門田先生の乾杯と進み、会場に設けた掲示板には残念ながら今回都合により出席出来なかつた会員からの近況などが書かれたハガキが貼られ、見覚えのある字体に一層懐かしさが感じられました。

とって、南先生とお話が出来たことと出席して大変よかつたと思えました。門田先生とは、皆それぞれ卒業後に始めたと思われるゴルフ談義に花が咲き会員による「同門会ゴルフコンペ」が出来るといふのもうそ遠い話ではないと今から楽しみにしております。

ら悪い意味の慣れが生じている我々にとって「圭雪」という名は実にすばらしい名ではないでしょうか。圭雪会には同期の会員への進路や現在に至るまでの過程を各自より伺いました。皆それぞれ転職等の苦勞などもありながら頑張っている様でした。

なごう、南先生とお話が出来たことと出席して大変よかつたと思えました。門田先生とは、皆それぞれ卒業後に始めたと思われるゴルフ談義に花が咲き会員による「同門会ゴルフコンペ」が出来るといふのもうそ遠い話ではないと今から楽しみにしております。



東日本学園大学薬学部薬理学教室同門会 第56回(昭和63年11月5日) 会場:札幌ランドホテル



新入生歓迎会、卒業生交流会、同窓会、各種行事の案内。また、卒業生からのメッセージや、今後の活動計画も掲載されています。

### 第四回五期生同窓会

前田 典子 (5期)

去る二月十七日(日)札幌プリンスホテルに於て、東日本学園大学薬学部五期生による第四回五十六(五十六会)を終えて

品を手にした者の中には、「子供にいいお土産ができた」と、学生時代には似合わなかつた言葉もすっかり板につき、家庭での良きお父さんぶりが窺えた。中でも皆を和ませたのは、小さなスターの登場であった。と云うのは、出席者のお子さんの一人がマイクを手にして披露してくれたのである。

に少しでも多くの仲間に見てもらいたい、次回の会への参加を呼びかけていきたい。なお、今回は開催地が札幌という事で参加できなかった者も少なくなく、今後は各地の同期生とも協力し合い大きな会に発展させて行くと共に、互いの幸福と健康を祈りつつ又四年後に会おうと、気楽に顔を出せる会として長く続けて行きたいものである。



第4回 東日本学園大学 五十六会 S63.2.27

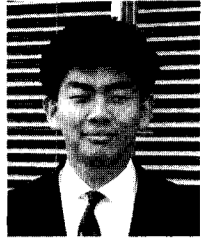


する薬局から購入した豪華賞品？が岩田支部長から手渡され、参加者全員に参加賞が渡された。引き続き同ビルの2階にあるすきやき屋「はな牛」で懇親会を行った。会は岩田支部長の挨拶の後、武田副会長の乾杯の音頭で始まり、会場では先輩後輩などの関係もなく今の自分の仕事に対する相談や近況について話し合い、楽しい一時を過ごした感であった。閉会後は気のあつた仲間同士で、2次会、3次会へと薄野のネオン街を目指し、消えていった。

随筆欄

卒業して3年

小島 久明(9期)



寒さも一段と厳さを増してき... た仕事とは違い、配達や商品の入荷や運搬、電話による対応の仕事の9割を占めていました。

求人、求職について

求人希望ありがとうござい... 東日本本部では同窓生の就職と再就職を確保するために求人、求職の係を昭和63年6月より設けました。

がわかってきて、一社員として積極的に取り組んでいける様になりました。

実際の問題として、会社では誰がどの様な仕事をどの様な考え方でやっているかとか今の仕事にたいして改善等は考えているのかとか物、商品、はどの様に病

出で世間で中堅クラスの人も増えて大学の名を売っていくのもよいよこれからの時期だと思いま

現在、就職を目前に控えた人も、まだ先の人も自分がこれからの様な職につこうかとかその職についてその中で薬剤師としての職能をどう生かしていくかよく考え

話が変わりますが、最初の所で少し書きませんが、卸にいたると薬剤師でも様々な職業の人達と話をする機会があります。それは

お知らせ

二期入学の皆様へ

私たち二期生が東日本学園大学を卒業して、はや十年が経とうとしております。64年の初秋、大学の先生を迎え親睦会を開催したいと考えております。つきましては

二期入学の皆様のご協力をお願いいたします。 場所 札幌 日時 昭和64年夏一初秋 山崎信彦(2期)

卒後教育講座のご案内

- 主催 東日本薬機支部
テーマ コンピューター基礎の習得
「素人から初心者への一歩」
日時 昭和64年1月25日(水) 18時30分
会場 北海道薬事会館
〒062 札幌市豊平区平岸1条8丁目5番12号
TEL 011-811-0184

ハーブの店オープン!

杉浦 祥弘(5期)

地下鉄東西線西28丁目駅で下車、山の手通りを約3km 右手にホンダプリモのデラーを見つけたらその駐車場の裏手にオフホワイの建物、気をつけないと通り

後になつてしまいました。私と竹内さんとの付き合いは大学時代のクラブ活動から現在同じ会社の社員として、もう十年になります。このたび札幌二軒しかないハーブショップ専門店ということ



場所 札幌市西区山の手 1条6丁目4-18
ハーブの店 勸次郎屋

伝言板

同窓生の皆様へお願い。
○ AJD (オールジャパンドラッグ)
○ 東友会
○ 紅白会
○ ファルマ
といったメンバー店への加入の仕方など... 色々な情報を教えて下さい。

編集後記

今回の会報も、どうやら約束どおり同窓会員皆様のもとへお届けすることが出来そうです。現在編集委員は私のほかに、浜上尚也君(9期)と高野由美さん(10期)の二人が、赤えんぴつを持ってがんばっています。そのほか、臨時編集委員が何名か出入りしています。第6号は印刷会社に提出する締め切り間近になって搭載希望の原稿が相次いで殺到し、私がこうして残りのスペースを埋めようとして投稿しているうしろでは編集

薬剤師募集

太誠堂薬局
専務 星野太郎(1期)

塩谷本店 小樽市塩谷2丁目17-2 TEL.0134(26)3451
札幌白石支店 札幌支店

薬剤師パート募集

北日本調剤株式会社
札幌市中央区大森西24丁目 電話(011)613-8303 担当 橋本

全国1000店目標 健康と暮らしに奉仕する親切第一の店
株式会社 クスリのツルハ
コントロールセンター
代表取締役 鶴 羽 肇